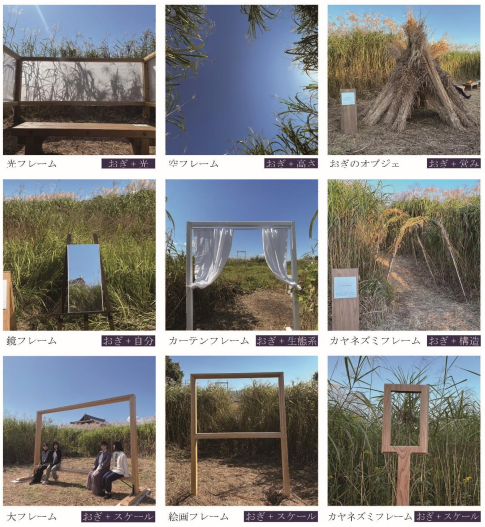
優秀賞



おぎを異なる視点から楽しむための９つの展示物

公園分野

おぎの美術館

取組概要

平城宮跡歴史公園では、いにしえの都であり「古都奈良の文化財」として世界文化遺産に登録されている平城宮跡において、奈良時代を今に感じることを目指した整備、管理を進めている。公園内にあり、万葉植物のひとつにも数えられている「おぎ」の群落において、群落や風景を設置したフレームにより切り取り鑑賞していただく期間限定の自然一体型屋外美術館を開設した。この取組は、広大な公園の魅力を広く認知してもらうと同時に、外来種の侵入による「おぎ群落」の衰退という課題に取り組み、平城宮跡の景観を保護することを目指したものである。

受賞理由

歴史的な公園が持つ美しい風景の保全および認知の向上のために、地域を巻き込んで取組を行っていること、文化財の保全の一部を、地域固有の植栽管理を通じて行いながら、「おぎ美術館」という新たな価値を生み出す活動を同時に展開していることが評価された。

取組のポイント

公園を適切に管理しながら、新たな価値を生み出す取り組みを実践した。現在平城宮跡では、奈良時代を感じさせる植生である「おぎ群落」が外来種であるセイタカアワダチソウの侵入により存続の危機に直面している。この課題に対処するため、セイタカアワダチソウを刈り取り、その空間を人が群落へ入り込む小径として再利用し、屋外美術館のルートとすることで、保全と活用を同時に実現した。普段何気なく眺めていたおぎの存在を新たな視点から楽しむ場が提供され、公園の認知度向上や愛着形成に繋がっている。

受賞者について

受賞者

一般財団法人公園財団 平城宮跡管理センター
奈良女子大学 生活環境学部住環境学科 根本研究室
国土交通省 近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所

コメント

この度は、名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。
この取組のきっかけは、学生たちが、背丈の高いオギが風にたなびき、太陽に照らされる姿はとても魅力的であると感じてくれたことです。そして、この風景をいつもと違う視点で観賞することができる空間づくりが始まり、今年で３年目を迎え、生物多様性の保全の効果も現れてきています。
今回の受賞を励みに、公園と大学の連携をさらに深め、社会資本のストック効果の発揮と、持続可能な社会の実現に貢献していきたいと思います。

団体概要

奈良女子大学と、平城宮跡歴史公園（公園の管理運営を担う平城宮跡管理センター、公園管理者である国土交通省）の学官連携グループです。３者の専門知識や経験を結集し、地域の資産でもあり、身近にある世界遺産である、平城宮跡の保全と活用の両立を目指した取組を推進しています。

問い合わせ先

一般財団法人公園財団　平城宮跡管理センター
TEL:０７４２－３６－８７８０
HP:　https://www.heijo-park.jp/